

2 陳情第 1 号

<p>2 陳 情 第 1 号</p>	<p>日本に「対外的情報省」を設立し、米軍横田基地の全面返還、縮小の意見書を国に提出する事に関する陳情</p>
<p>付 託 委 員 会</p>	<p>総務区民委員会</p>
<p>受理及び付託 年 月 日</p>	<p>令和 2 年 1 月 1 0 日受理、令和 2 年 2 月 2 0 日付託</p>
<p>陳 情 者</p>	<p>愛知県安城市_____</p> <p>_____</p> <p>代表 _____</p>

(要 旨)

日本の平和と安全を取り巻く環境は、近年厳しさを増しています。この為国は専守防衛の範囲で防衛力の強化、拡張をしています。

隣国との軍備増強に力を注ぐより、「対外的情報省」を設立し、隣国の風土、環境、言語、文化を学び、情報戦に尽力すべきとの意見書を国に提出してください。

(理 由)

我が国は、太平洋戦争の敗北後、サンフランシスコ講和条約で占領政策からの独立を果たし、米国と日米安全保障条約を締結しました。

しかし、東アジア諸国の中国、北朝鮮、韓国、ロシアなどとは領土紛争、歴史認識などをめぐる問題で我が国を取り巻く環境は厳しくなりました。

我が国は、専守防衛からミサイル防衛強化に舵を切りつつあります。しかし、これでは隣国との軍備拡張競争に陥りかねません。

先の大戦で日本は兵用地誌、補給を軽視し酷い結果を招いたことは事実です。大切な事は、他国の風土、環境、言語、文化などあらゆる事を学び情報を得る事です。この為日本に「対外的情報省」を設立し、情報戦を展開するべきです。